



平成27年11月2日

各 位

会 社 名 ニッポン高度紙工業株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 山岡 俊則
(J A S D A Q ・ コ ー ド 3 8 9 1)
問 合 せ 先 執行役員経営企画室長 溝淵 泰司
T E L 0 8 8 (8 9 4) 2 3 2 1

平成28年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と決算数値との差異
および通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成27年5月13日に公表しました平成28年3月期第2四半期連結累計期間（平成27年4月1日～平成27年9月30日）の業績予想値と本日公表の決算数値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、平成28年3月期（平成27年4月1日～平成28年3月31日）の通期の連結業績予想につきましても下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成28年3月期 第2四半期連結累計期間の業績予想数値と実績値との差異（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,600	330	320	210	19.52
今回実績 (B)	5,912	127	255	232	21.62
増減額 (B-A)	△688	△203	△65	22	
増減率 (%)	△10.4	△61.5	△20.3	10.5	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成27年3月期第2四半期)	6,719	499	563	395	36.72

2. 平成28年3月期 通期 連結業績予想数値の修正（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	13,400	660	650	450	41.83
今回修正予想 (B)	12,000	200	370	290	26.96
増減額 (B-A)	△1,400	△460	△280	△160	
増減率 (%)	△10.4	△69.7	△43.1	△35.6	
(ご参考) 前期実績 (平成27年3月期)	12,930	547	757	443	41.25

3. 差異が生じた理由および連結業績予想修正の理由

当社グループの関連市場であるエレクトロニクス業界につきましては、薄型テレビなど民生機器は消費税増税後の落ち込みからは回復しつつあるものの、需要拡大に向けた明るい兆しは見られない状況ですが、スマートフォン関連やカーエレクトロニクス市場は引き続き堅調に推移しました。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間については、当社主力製品であるコンデンサ用セパレータは、車載などの低圧品向けが安定して推移しましたが、PC向けなどの低圧品向けならびにエアコン用インバータなど白物家電用の中高圧品向けが低調に推移しました。電池用セパレータでは、省エネ型車両や定置蓄電池用に使用される大型リチウムイオン電池向けは、競争の激化による価格下落の影響もあり低調に推移しました。

また、上記背景に加え、売上高の減少に伴う稼働率低下や円安等による原材料価格の上昇を受け、売上原価率が上昇し、営業利益、経常利益は、平成27年5月13日に公表した予想を下回る結果となりました。

通期の業績予想につきましては、中国景気の先行き不透明感等により、コンデンサ用セパレータは、エアコン等の白物家電向けや工作機械向けを中心に鈍化することを予想します。また、電池用セパレータにつきましても、電気二重層キャパシタ用セパレータが中国における環境配慮型バス向けが減少し、リチウムイオン電池用セパレータは、価格競争が厳しく、売上高は、当初予想を下回る見込みであり、通期の連結業績予想を上記のとおり修正いたします。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上